

暴走!! 野田政権

アメリカいいなり



沖縄県民の総意無視した 基地押し付けはノー!

新基地建設反対、普天間基地は無条件撤去を

TPPでもアメリカいいなりで
交渉参加方針を表明

野田政権がアメリカいいなりで暴走しています。米国の安い農産物や遺伝子組み換え食品の輸入に道を開き、農業はじめ国民の暮らしを破壊するTPP（環太平洋経済連携協定）交渉参加方針を表明しました。44道府県議会が「反対」「慎重に」と声をあげているのを無視しての強行です。

まるで米軍占領時の「銃剣とブルドーザー」
による基地拡大だ

沖縄の米軍普天間基地「移設」問題でも同様です。沖縄県議会が全会一致で「普天間基地の閉鎖・撤去、県内移設反対」を決議し、知事も41全市町村も反対しているのに、野田政権は名護市辺野古への新基地建設のための環境影響「評価書」を今年中に提出し、来年春にも海の埋め立て申請を行おうとしています。

これも、「結果を出せ」という、オバマ大統領の要求に何とかこたえようとする暴走です。県知事も「米軍占領時の『銃剣とブルドーザー』による土地取り上げのようなやり方」と怒るほどです。

まさに民主主義破壊
基地の押し付けヤメロの声、全国から

オバマ大統領が焦っているのは、無法なイラク・アフガン戦争で巨額の財政赤字が生まれ、米議会が軍事費削減を求めるなか、普天間基地移設計画の見直しの声が高まっているからです。

こんな計画は見直すのが当然です。やるべきは、県民の総意に従い、新基地建設を撤回し、「世界一危険な基地」普天間基地を無条件撤去することです!

